

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-179738 (P2003-179738A)  
 【公開日】平成 15 年 6 月 27 日 (2003.6.27)  
 【出願番号】特願 2001-377851 (P2001-377851)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/387  
 G 0 6 T 1/00  
 G 0 6 T 3/00  
 G 0 6 T 7/60  
 H 0 4 N 1/40

【F I】

H 0 4 N 1/387  
 G 0 6 T 1/00 2 0 0 A  
 G 0 6 T 3/00 3 0 0  
 G 0 6 T 7/60 1 1 0  
 G 0 6 T 7/60 1 8 0 D  
 G 0 6 T 7/60 2 0 0 D  
 H 0 4 N 1/40 F

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 6 日 (2004.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データの有効画像領域の外接矩形領域を、前記有効画像領域を構成する画素以外の画素を所定の補完画素で補完して抽出する領域抽出手段と、

前記領域抽出手段により抽出した抽出領域の前記補完画素を透過処理する透過処理手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記有効画像領域を構成する画素を所定条件下にラベリング処理するラベリング手段をさらに有し、

前記領域抽出手段は、同一ラベルでラベリング処理された画素群の外接矩形領域を抽出するものである、

請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記抽出領域が他の抽出領域と重なるか否かを判別する領域重複判別手段をさらに有し、

前記透過処理手段は、前記抽出領域が他の抽出領域と重なる場合に前記補完画素を透過処理することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記抽出領域の領域種別を判別する領域種別判別手段をさらに有する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

**【請求項 5】**

前記抽出領域に領域種別に応じた画像処理を施す画像処理手段と、  
前記抽出領域を合成して画像ファイルを作成する画像ファイル作成手段と、  
をさらに有する請求項 4 に記載の画像処理装置。

**【請求項 6】**

画像データの有効画像領域の外接矩形領域を、前記有効画像領域を構成する画素以外の画素を所定の補完画素で補完して抽出する段階（１）と、  
段階（１）で抽出した抽出領域の前記補完画素を透過処理する段階（２）と、  
を有することを特徴とする画像処理方法。

**【請求項 7】**

前記有効画像領域を構成する画素を所定条件下にラベリング処理する段階（３）をさらに有し、  
段階（１）は、同一ラベルでラベリング処理された画素群の外接矩形領域を抽出するものである、  
請求項 6 に記載の画像処理方法。

**【請求項 8】**

前記抽出領域が他の抽出領域と重なるか否かを判別する段階（４）をさらに有し、  
段階（２）は、前記抽出領域が他の抽出領域と重なる場合に前記補完画素を透過処理することを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の画像処理方法。

**【請求項 9】**

前記抽出領域の領域種別を判別する段階（５）をさらに有する請求項 6 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理方法。

**【請求項 10】**

前記抽出領域に領域種別に応じた画像処理を施す段階（６）と、  
前記抽出領域を合成して画像ファイルを作成する段階（７）と、  
をさらに有する請求項 9 に記載の画像処理方法。

**【請求項 11】**

画像データの有効画像領域の外接矩形領域を、前記有効画像領域を構成する画素以外の画素を所定の補完画素で補完して抽出する手順（１）と、  
手順（１）で抽出した抽出領域の前記補完画素を透過処理する手順（２）と、  
を画像処理装置に実行させることを特徴とする画像処理プログラム。

**【請求項 12】**

前記有効画像領域を構成する画素を所定条件下にラベリング処理する手順（３）をさらに画像処理装置に実行させるものであり、  
手順（１）は、同一ラベルでラベリング処理された画素群の外接矩形領域を抽出するものである、  
請求項 11 に記載の画像処理プログラム。

**【請求項 13】**

前記抽出領域が他の抽出領域と重なるか否かを判別する手順（４）をさらに画像処理装置に実行させるものであり、  
手順（２）は、前記抽出領域が他の抽出領域と重なる場合に前記補完画素を透過処理することを特徴とする請求項 11 または 12 に記載の画像処理プログラム。

**【請求項 14】**

前記抽出領域の領域種別を判別する手順（５）をさらに画像処理装置に実行させることを特徴とする請求項 11 ～ 13 のいずれか 1 項に記載の画像処理プログラム。

**【請求項 15】**

前記抽出領域に領域種別に応じた画像処理を施す手順（６）と、  
前記抽出領域を合成して画像ファイルを作成する手順（７）と、  
をさらに画像処理装置に実行させることを特徴とする請求項 14 に記載の画像処理プログラム。

**【請求項 16】**

請求項 11～15 のいずれか 1 つに記載の画像処理プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

**【請求項 17】**

原稿を読み取って画像データを取得する画像読取手段をさらに有する請求項 1～5 のいずれか 1 つに記載の画像処理装置。